

構造改革特別区域計画新旧対照表

変 更 後	変 更 前
<p style="text-align: center;">構造改革特別区域計画</p> <p>4 構造改革特別区域の特性</p> <p>福崎町は、昭和31年に1町2村が合併して誕生し、兵庫県の中央部よりやや南部に位置し、清流市川に育まれた豊かな風土と歴史を背景に、柳田國男など多くの偉人を生んだ“学問・芸術文化、民俗学のふるさと”の特性をもったまちである。</p> <p>町域は、東西10.1km、南北11.5km、総面積45.82km²で、町のほぼ中央部で中国縦貫自動車道と播但連絡道路が交差し、インターチェンジをもつ広域的な交通の要衝地でもある。また、平成10年にJR播但線が電化され、姫路都市圏近郊都市としての性格が強まっており、JR福崎駅周辺および福崎インターチェンジ周辺や県道三木宍粟線沿いに市街地が形成されている。</p> <p>昭和46年に福崎工業団地、その後平成7年に福崎企業団地、平成9年に福崎町東部工業団地が完成し、さらに平成12年には近畿福祉大学（現神戸医療福祉大学）が開学し、工業のまちとともに学園のまちとしても発展が期待されている。</p> <p><u>平成22年の国勢調査による本町の総人口は19,830人で、10年前からは増減を繰り返している状況であり、世帯数は一貫して増加してきている。しかしながら、当町においても少子・高齢化が徐々に進行しており、今後は、活力にあふれ、風格のある、住みよいまちづくりをめざしている。</u></p> <p>現在、町内の保育所では保護者の就労を支援するため、乳児保育・障害児保育・一時保育・延長保育の特別保育事業に取り組み、保護者の多様な保育ニーズに対応した保育事業を展開しているものの、核家族の増加や就労状況の変化及び就労形態の多様化により、低年齢児の保育所入所希望や産休明け入所が増加している。さらには子育てに関する不安や悩みを抱えている状況から、子育て親子の交流を望むなど子育てに関する要望が高まっている。それらに対応するべく、地域子育て支援施設（子育て支援センター・学習センター）や保育所などの各種サービスが、子育て支援の重要な役割を担っている。</p> <p>現在、町内の保育所は町立4か所、私立2か所で、<u>町立保育所は老朽化した施設の建て替えと同時に順次幼保一体化施設整備を行っており、財政的に厳しい状況にあるため、自園調理用の設備や人件費の確保が困難な状況にある。</u></p>	<p style="text-align: center;">構造改革特別区域計画</p> <p>4 構造改革特別区域の特性</p> <p>福崎町は、昭和31年に1町2村が合併して誕生し、兵庫県の中央部よりやや南部に位置し、清流市川に育まれた豊かな風土と歴史を背景に、柳田國男など多くの偉人を生んだ“学問・芸術文化、民俗学のふるさと”の特性をもったまちである。</p> <p>町域は、東西10.1km、南北11.5km、総面積45.82km²で、町のほぼ中央部で中国縦貫自動車道と播但連絡道路が交差し、インターチェンジをもつ広域的な交通の要衝地でもある。また、平成10年にJR播但線が電化され、姫路都市圏近郊都市としての性格が強まっており、JR福崎駅周辺および福崎インターチェンジ周辺や県道三木宍粟線沿いに市街地が形成されている。</p> <p>昭和46年に福崎工業団地、その後平成7年に福崎企業団地、平成9年に福崎町東部工業団地が完成し、さらに平成12年には近畿福祉大学（現近畿医療福祉大学）が開学し、工業のまちとともに学園のまちとしても発展が期待されている。</p> <p><u>平成17年の国勢調査による本町の総人口は20,669人となっており、平成7年と12年には減少した人口が再び増加し、世帯数は一貫して増加してきている。しかしながら、当町においても少子・高齢化が徐々に進行しており、今後は、活力にあふれ、風格のある、住みよいまちづくりをめざしている。</u></p> <p>現在、町内の保育所では保護者の就労を支援するため、乳児保育・障害児保育・一時保育・延長保育の特別保育事業に取り組み、保護者の多様な保育ニーズに対応した保育事業を展開しているものの、核家族の増加や就労状況の変化及び就労形態の多様化により、低年齢児の保育所入所希望や産休明け入所が増加している。さらには子育てに関する不安や悩みを抱えている状況から、子育て親子の交流を望むなど子育てに関する要望が高まっている。それらに対応するべく、地域子育て支援施設（子育て支援センター・学習センター）や保育所などの各種サービスが、子育て支援の重要な役割を担っている。</p> <p>現在、町内の保育所は町立4か所、私立2か所で、<u>築40年以上の施設がほとんどで老朽化が進んでいるが、施設を整備するためには財政的な制約を受けるため、自園調理による給食の維持が困難な状況にある。</u></p>

別紙

5. 当該規制の特例措置の内容

福崎町給食共同調理センターは平成15年に建設され、調理設備、衛生面が充実しており、1日約3,000食の調理が可能である。各町立保育所の調理業務を集約化することにより、給食材料調達の効率が高まり、栄養管理の面においても、給食共同調理センターで栄養士が一元的に栄養管理をおこなうため、児童の発育に応じた給食の提供が可能である。また、各保育所は小学校と近距離にあり、効率的な配送ができる。

特例措置の実施にあたっては、平成5年2月15日指第14号『病院・診療所等の業務委託について』の第4の2の規定、平成10年2月18日児発第86号『保育所における調理業務の委託について』の留意事項、及び平成20年4月1日雇児発第0401002号『構造改革特別区域における「公立保育所における給食の外部搬入方式の容認事業」について』における留意事項を遵守する。

- ① 保育所における給食については、給食共同調理センターに現保育所調理員を配置し、児童の発達段階や健康状態に応じた幼児食づくりの対応を行う。各保育所の所長は、現調理室での保管、衛生管理に努める。食事は、現在と同様に、3歳以上児については昼食1回、おやつ1回(3時)、3歳未満児については昼食1回、おやつ2回(10時・3時)を提供する。

また、小・中学校の長期休業中においても、保育所の給食業務については通常通り実施する。

- ② 栄養面では、『学校給食摂取基準』、『食育指導計画』、『保育所保育指針』等に基づき、栄養士が徹底した栄養管理等に努め、児童に必要な栄養素量を確保する。また、定期的に保育所、給食共同調理センター、栄養士との会議を開催し、給食、おやつ等の献立、時間、調理の工夫等を検討する。保育所は児童の発達、健康状態などの情報を給食調理センターへ提供し、連携を強化する。

平成23年度に策定された「福崎町食育推進計画」により、すべての町民への食育の大切さを伝えると共に、町の年次計画に沿って、町内の小・中学校、幼稚園、保育所でも各学校、園、所ごとの食育計画を作成し、保護者に食育の大切さを伝え様々な事業を実施する。町保健センター、地域の食生活改善推進グループであるいずみ会、給食共同調理センター、保育所が共に協力し、食生活習慣形成の重要性についての意識の高揚、生活環境に見合った健全な食生活の実践を目標に、児童・園児や保護者への食育指導を行い、食を通じた子どもの健全育成に取り組む。

- ③ 給食共同調理センターの保健衛生面については、『学校給食衛生管理マニュアル』に基づき、施設設備の衛生管理、食材の選定・検収、施設従事者の健康管理、調理過程、配送等の衛生管理に十分留意する。各保育所においても保健所の指導を遵守し、衛生管理に努める。

福崎町の学校給食では、既に地元産の米や、地域の特産物や農産物を給食に取り入れているが、今後も地産地消の推進を図りながら地域生産者との連携をより強化し、安全で安心できる食材の選定に努める。

別紙

5. 当該規制の特例措置の内容

福崎町給食共同調理センターは平成15年に建設され、調理設備、衛生面が充実しており、1日約3,000食の調理が可能である。各町立保育所の調理業務を集約化することにより、給食材料調達の効率が高まり、栄養管理の面においても、給食共同調理センターで栄養士が一元的に栄養管理をおこなうため、児童の発育に応じた給食の提供が可能である。また、各保育所は小学校と近距離にあり、効率的な配送ができる。

特例措置の実施にあたっては、平成5年2月15日指第14号『病院・診療所等の業務委託について』の第4の2の規定、平成10年2月18日児発第86号『保育所における調理業務の委託について』の留意事項、及び平成20年4月1日雇児発第0401002号『構造改革特別区域における「公立保育所における給食の外部搬入方式の容認事業」について』における留意事項を遵守する。

- ① 保育所における給食については、給食共同調理センターに現保育所調理員を配置し、児童の発達段階や健康状態に応じた幼児食づくりの対応を行う。各保育所の所長は、現調理室での保管、衛生管理に努める。食事は、現在と同様に、3歳以上児については昼食1回、おやつ1回(3時)、3歳未満児については昼食1回、おやつ2回(10時・3時)を提供する。

また、小・中学校の長期休業中においても、保育所の給食業務については通常通り実施する。

- ② 栄養面では、『学校給食摂取基準』、『食育指導計画』、『保育所保育指針』等に基づき、栄養士が徹底した栄養管理等に努め、児童に必要な栄養素量を確保する。また、定期的に保育所、給食共同調理センター、栄養士との会議を開催し、給食、おやつ等の献立、時間、調理の工夫等を検討する。保育所は児童の発達、健康状態などの情報を給食調理センターへ提供し、連携を強化する。

本町の保育所では、保健所指導のもと、食育推進地域づくり事業『園児のこころと体の元気アップ食育実践事業』を行っている。町保健センター、地域の食生活改善推進グループであるいずみ会、給食共同調理センター、保育所が共に協力し、食生活習慣形成の重要性についての意識の高揚、生活環境に見合った健全な食生活の実践を目標に、児童・園児や保護者への食育指導を行い、食を通じた子どもの健全育成に取り組む。

- ③ 給食共同調理センターの保健衛生面については、『学校給食衛生管理マニュアル』に基づき、施設設備の衛生管理、食材の選定・検収、施設従事者の健康管理、調理過程、配送等の衛生管理に十分留意する。各保育所においても保健所の指導を遵守し、衛生管理に努める。

福崎町の学校給食では、既に地元産の米や、地域の特産物や農産物を給食に取り入れているが、今後も地産地消の推進を図りながら地域生産者との連携をより強化し、安全で安心できる食材の選定に努める。

④ 調理業務の委託については、その契約内容、施設と受託業者との業務分担及び経費負担を明確にした契約書を取り交わすこととされているが、福崎町では給食共同調理センター、保育所が共に教育委員会所管であり、契約行為には馴染まないことから、町教育長と給食センター所長との間で『覚書』を締結することにより対応する。

搬入元（福崎町給食共同調理センター）

面積	1,458.17 m ²
職員配置数	所長 1 名 栄養士 2 名 事務員 1 名 調理員 13 名 運転員 3 名 添乗員 3 名
調理能力	3,000 食/日
調理器具等	回転釜、上流し、下流し、調理台、自動食器洗浄機、自動食缶洗浄機、コンテナ洗浄機、食器食缶消毒保管庫、ボイラー、かくはん機、野菜裁断機、球根皮むき機、フードカッター、連続揚物機、連続焼物機、大型冷蔵庫、冷蔵庫、大型冷凍庫、冷凍庫、二重食缶、食器浸湿槽、包丁殺菌庫、作業台、コンテナ、運搬自動車、作業車、厨芥処理設備、真空冷却器、中心温度管理機能付き調理器、エアカーテン、エアシャワー、手指殺菌機、適温給食機、排水処理施設、軽四貨物自動車、器具消毒保管庫、抜水機、クリーンキャビネット、移動シンク

搬入先（4町立保育所）

施設名（現園児数）	田原保育所（190名）
調理室の面積	36.64 m ²
調理員配置数	0名
削除	削除
調理器具一覧	配膳台・調理台、冷凍冷蔵庫、冷凍庫、電子レンジ、食器洗浄機、炊飯器、電磁調理器、シンク、給湯器

施設名（現園児数）	八千種保育所（69名）
調理室の面積	25.86 m ²
調理員配置数	0名
削除	削除
調理器具一覧	配膳台・調理台、冷凍冷蔵庫、冷凍庫、電子レンジ、食器乾燥機、炊飯器、電磁調理器、シンク、給湯器

④ 調理業務の委託については、その契約内容、施設と受託業者との業務分担及び経費負担を明確にした契約書を取り交わすこととされているが、福崎町では給食共同調理センター、保育所が共に教育委員会所管であり、契約行為には馴染まないことから、町教育長と給食センター所長との間で『覚書』を締結することにより対応する。

搬入元（福崎町給食共同調理センター）

面積	1,458.17 m ²
職員配置数	所長 1 名 栄養士 2 名 調理員 8 名（内運転員 2 名兼務） 運転員 2 名
調理能力	3,000 食/日
調理器具等	回転釜、上流し、下流し、調理台、自動食器洗浄機、自動食缶洗浄機、コンテナ洗浄機、食器食缶消毒保管庫、ボイラー、かくはん機、野菜裁断機、球根皮むき機、フードカッター、連続揚物機、連続焼物機、大型冷蔵庫、冷蔵庫、大型冷凍庫、冷凍庫、二重食缶、食器浸湿槽、包丁殺菌庫、作業台、コンテナ、運搬自動車、作業車、厨芥処理設備、真空冷却器、中心温度管理機能付き調理器、エアカーテン、エアシャワー、手指殺菌機、適温給食機、排水処理施設、軽四貨物自動車、器具消毒保管庫、抜水機、クリーンキャビネット、移動シンク

搬入先（4町立保育所）

施設名（現園児数）	田原保育所（137名）
調理室の面積	20.60 m ²
調理員配置数	2名
調理能力	150食
調理器具一覧	配膳台・調理台、冷凍冷蔵庫、冷凍庫、電子レンジ、食器乾燥機、炊飯器、ガスコンロ、シンク、給湯器

施設名（現園児数）	八千種保育所（52名）
調理室の面積	19.44 m ²
調理員配置数	1名
調理能力	90食
調理器具一覧	配膳台・調理台、冷凍冷蔵庫、冷凍庫、電子レンジ、食器乾燥機、炊飯器、ガスコンロ、シンク、給湯器

施設名（現園児数）	福崎保育所（132名）
調理室の面積	26.53㎡
調理員配置数	0名
削除	削除
調理器具一覧	配膳台、調理台・作業台、冷凍冷蔵庫、冷凍庫、炊飯器、食器乾燥機、電磁調理器、シンク

施設名（現園児数）	高岡保育所（28名）
調理室の面積	27.22㎡
調理員配置数	0名
削除	削除
調理器具一覧	調理台、冷凍冷蔵庫、冷凍庫、食器乾燥機、炊飯器、電磁調理器、シンク、給湯器

6. 給食配送スケジュール

給食の配送は、専用車3台により3ルートで行う。保育所は各幼稚園、小学校から近距離にあるため、配送、回収については効率的に行うことが可能である。（午前8時から調理を、10時から順次配送を開始し、回収については13時から開始する。）給食は、調理完了後30分以内に喫食が可能である。

< 1号車 >	【配送】	【回収】
	< 1回目 >	なし
	田原小学校 (11:32)	
	< 2回目 >	
	福崎東中学校 (11:50)	
< 2号車 >	【配送】	【回収】
	< 1回目 >	< 1回目 >
	福崎幼稚園 (10:25)	田原小学校 (13:17)
	福崎保育所 (10:25)	
	< 2回目 >	< 2回目 >
	高岡保育所 (10:50)	福崎西中学校 (13:47)
	高岡幼稚園 (10:50)	高岡小学校 (13:55)
	高岡小学校 (10:55)	高岡保育所 (14:00)
	福崎西中学校 (11:11)	高岡幼稚園 (14:00)
	< 3回目 >	< 3回目 >
	福崎小学校 (11:33)	福崎小学校 (14:28)
		< 4回目 >

施設名（現園児数）	福崎保育所（133名）
調理室の面積	26.53㎡
調理員配置数	2名
調理能力	130食
調理器具一覧	配膳台、調理台・作業台、冷凍冷蔵庫、冷凍庫、炊飯器、食器乾燥機、電磁調理器、シンク

施設名（現園児数）	高岡保育所（29名）
調理室の面積	10.80㎡
調理員配置数	1名
調理能力	60食
調理器具一覧	調理台、冷凍冷蔵庫、冷凍庫、食器乾燥機、炊飯器、ガスコンロ、シンク、給湯器

6. 給食配送スケジュール

給食の配送は、専用車3台により3ルートで行う。保育所は各幼稚園、小学校から近距離にあるため、配送、回収については効率的に行うことが可能である。（午前8時から調理を、10時から順次配送を開始し、回収については13時から開始する。）給食は、調理完了後30分以内に喫食が可能である。

< 1号車 >	【配送】	【回収】
	< 1回目 >	< 1回目 >
	八千種保育所 (10:45)	八千種小学校 (13:20)
	八千種幼稚園 (10:50)	八千種幼稚園 (13:25)
	八千種小学校 (10:55)	八千種保育所 (13:30)
	< 2回目 >	< 2回目 >
	田原幼稚園 (11:15)	田原小学校 (13:50)
	田原小学校 (11:20)	田原幼稚園 (13:55)
		< 3回目 >
		福崎西中学校 (14:15)
		< 4回目 >
		福崎東中学校 (14:40)
< 2号車 >	【配送】	【回収】
	福崎小学校 (11:15)	福崎小学校 (13:20)
	福崎東中学校 (11:30)	
< 3号車 >	【配送】	【回収】

福崎東中学校 (14:49)

< 3号車 > 【配送】

< 1回目 >

田原幼稚園 (10:07)
田原保育所 (10:07)

< 2回目 >

八千種保育所 (10:51)
八千種幼稚園 (10:51)
八千種小学校 (10:58)

【回収】

< 1回目 >

八千種小学校 (13:11)
八千種幼稚園 (13:14)
八千種保育所 (13:14)

< 2回目 >

田原幼稚園 (13:47)
田原保育所 (13:47)

< 3回目 >

福崎幼稚園 (14:04)
福崎保育所 (14:04)

< 1回目 >

福崎幼稚園 (10:10)
福崎保育所 (10:10)
田原保育所 (10:20)

< 2回目 >

高岡保育所 (10:50)
高岡幼稚園 (10:55)
高岡小学校 (11:05)

< 3回目 >

福崎西中学校 (11:30)

< 1回目 >

田原保育所 (13:15)
福崎保育所 (13:25)
福崎幼稚園 (13:25)

< 2回目 >

高岡小学校 (13:55)
高岡保育所 (14:00)
高岡幼稚園 (14:05)